

NO. 80  
春号  
令和6年  
(2024年)

# 環境ひらかた



## 環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



### 「デコ活」って？

「デコ活」、「脱炭素に繋がる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称なのですが聞いたことがありますか？この言葉は、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(De-carbonization)と、環境に良いエコ(Ecology)を合体させた”デコ”と、活動・生活の、“活”とを組み合わせた新しい言葉です。環境省がこれまで進めてきた COOLCHOICE や、クールビズ・ウォームビズなどの取り組みをこの「デコ活」に一本化し、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル転換のうねり(ムーブメント)を起こすべく、新しい国民運動として開始し、世界に発信しようとスタートさせました。



### 「COP」って何？

昨年11月30日から国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)がアラブ首長国連邦(UAE)のドバイで開かれ「グローバルストックテイク」と呼ばれる各国の二酸化炭素削減目標の進捗に関して話し合われました。

そこで改めて「COP」って何？という事で、再確認をしておきます。COPとは「Conference of the Parties」の略で直訳すれば「契約を交わした当事者たちの会議」つまり「締約国会議」ということです。

### ひとこと



新年あけましておめでとうございます。

早いもので、事務局で勤めだして1年が経とうとしています。この間、事務局に来てくださった沢山の方と、環境のこと、子育てのこと、色んなお話をさせていただきました。またエコフォーラムや各種環境講座などイベントも盛り沢山！どれもが私にとってとても新鮮で実りのある楽しい1年でした。

2024年もたくさんの方が集い、和気あいあいと環境や色んなことについておしゃべりができる居心地の良い事務局にしていきます！

本年もどうぞよろしくお願いいたします。 田中

### ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第80号

令和6年1月1日発行(年4回発行)

発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号  
サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

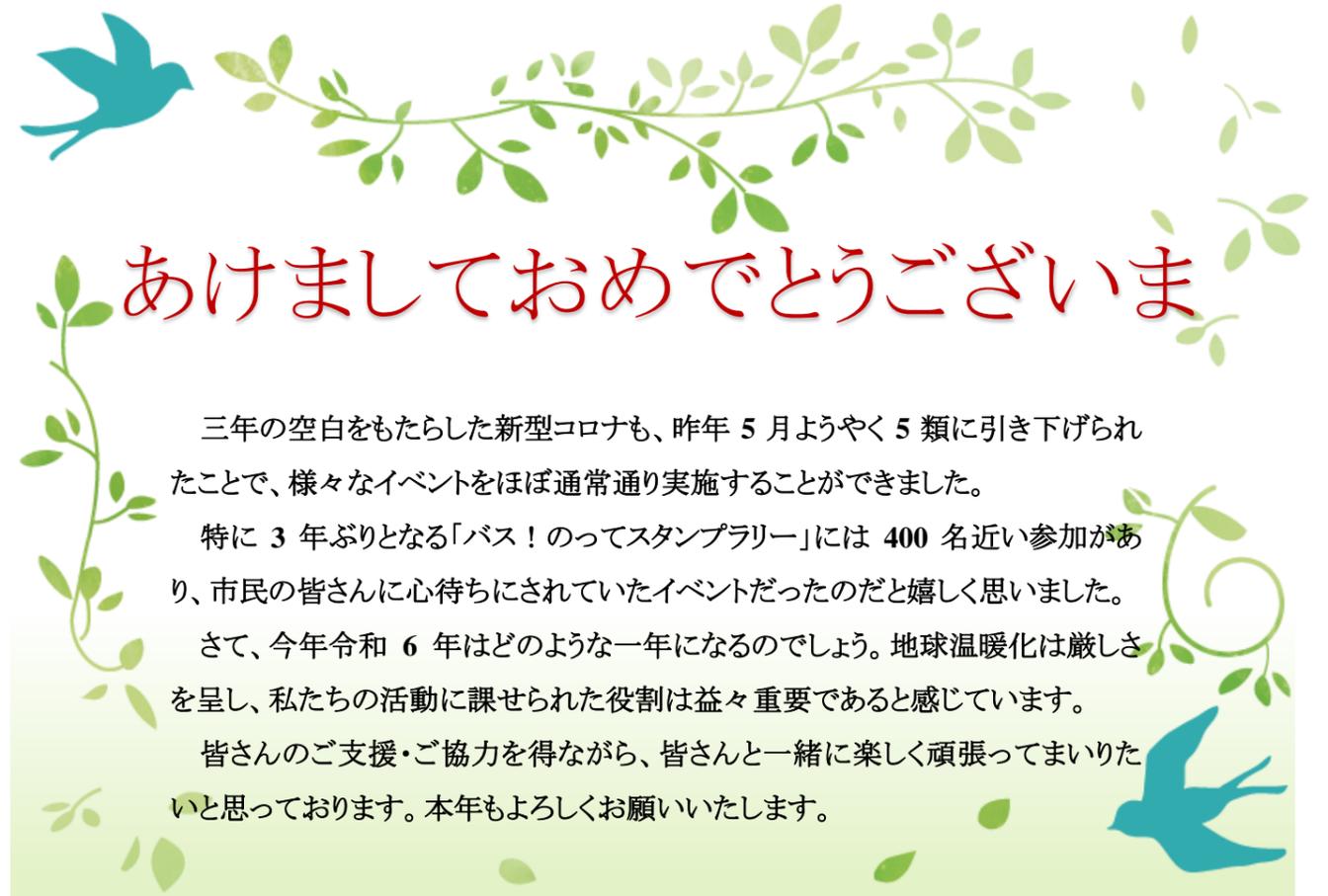
FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者: 井上 浩一 編集責任者: 丸井 晶子

この会報誌は再生紙を使用しています



## あけましておめでとうございます

三年の空白をもたらした新型コロナも、昨年5月ようやく5類に引き下げられたことで、様々なイベントをほぼ通常通り実施することができました。

特に3年ぶりとなる「バス!のってスタンプラリー」には400名近い参加があり、市民の皆さんに心待ちにされていたイベントだったのだと嬉しく思いました。

さて、今年令和6年はどのような一年になるのでしょうか。地球温暖化は厳しさを呈し、私たちの活動に課せられた役割は益々重要であると感じています。

皆様のご支援・ご協力を得ながら、皆さんと一緒に楽しく頑張ってまいりたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

### ～エコフォーラム2024のご案内～

2006年に始まったエコフォーラムも、今回で18回目となります。「脱炭素社会は可能か～枚方の場合～」

(仮)をテーマに講演会も開催します。

ぜひお越しください。

(詳しくは中面をご覧ください。)



### \*\*\*\*目次\*\*\*\*

新年のごあいさつ	P1
エコフォーラム2024 村野サブリで開催します	
環境ミニ講座・ティールーム等報告	P2・3
部会報告	P4・5
お知らせコーナー	P6
環境トピック VOL.46	P7
環境ミニ知識	P8

# エコフォーラム2024

## 今年もサブリ村野で開催!



写真は昨年開催の様子です

昨年のエコフォーラムは約 160 人の来場者がありました。今年のエコフォーラムは、昨年以上に趣向を凝らし、ご家族で楽しみながら「環境」について学べる仕掛けを設け、前回のエコフォーラムを上回る来場者数で大いに盛り上げたいと思っています。皆様のご来場をお待ちしています。

### 環境ミニ講座報告

**6/22 「夏を先取り!ひんやりスイーツ」**

簡単でリーズナブルで美味しいスイーツにみんな満足! お菓子作りを通してエコを学びました。

**7/22 「ソーラーミニカーでエネルギーを学ぼう!」**

親子 40 名が参加。エネルギーについての学びの後、それぞれが組み立てたソーラーミニカーを走らせ、太陽光のエネルギーを実感しました!

**8/19 「天の川を遊ぼう!」** 会報誌 79 号をご覧ください。

**9/21 「秋の味覚を食べ尽くす!」**

「さつま芋と白玉粉でこんなにおいしいお団子が簡単にできるなんて!」と参加してくれた高校生もビックリ! 暮らしの中でできるエコ行動を知ってもらえました。

**10/26 どんぐりクラフト 「秋をお部屋に」**

講師の指導で個性あふれる作品ができました

**11/30 「お正月のしつらえを手作りで」**

捨ててしまう荷造りひもや色紙などを使いお正月用の箸置きと箸袋を作りました。出来栄えに皆さん満足。

# 環境トピックス Vol.46

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。

今回は、「世界平均気温“温室効果ガス削減目標達成でも 2.9 度上昇”と国連が発表」「核のごみ日本に適地はない」の問題です。

### ◆世界平均気温 “温室効果ガス削減目標達成でも 2.9 度上昇” と国連が発表

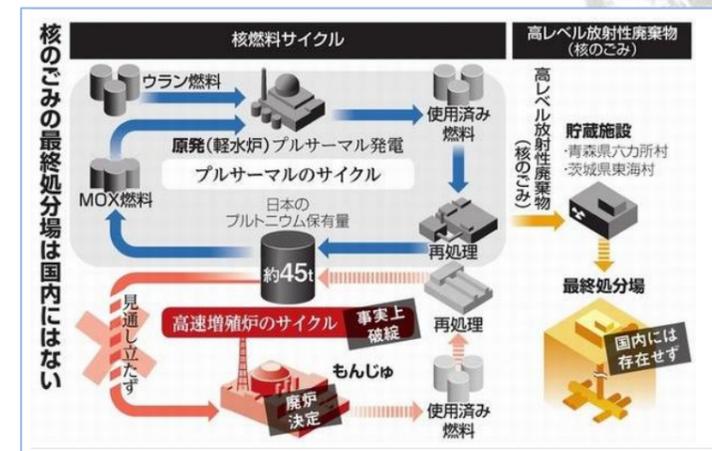
昨年 11 月 21 日 国連は各国が 2030 年に向けて掲げた温室効果ガスの削減目標を達成したとしても、世界の平均気温は今世紀末までに 2.5 度～2.9 度上昇するという見通しを発表し、対策は不十分だと指摘しました。さらにこの発表を受け、国連のグテーレス事務総長は「これらはすべてリーダーシップの失敗であり、弱者への裏切りであり、大きな機会の喪失だ」と述べ、さらに「指導者たちは、これ以上、問題を先送りすることはできない。COP28 で飛躍的な気候変動対策を掲げなければならない」と各国がより野心的な合意を目指すべきだと訴えました。

ちなみに、2022 年の世界の温室効果ガスの排出量は前年に比べ 1.2%増加し、574 億トンと過去最高でした。

### ◆◆核のごみ「日本に適地はない」

昨年 10 月末、地球科学の専門家有志が原発の使用済み核燃料から出る高レベル放射性物質「核のごみ」の最終処分場について「日本に適地はない」との声明を出しました。

日本は地殻変動が激しく、10 万年にわたって地下に閉じ込めておくことができる場所がなく、また人口バリア(廃棄物をガラスで固め金属で覆い粘土で囲む多重の障壁)技術を過信しているとして、2000 年に成立した現行の「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」の廃止と、「地層処分ありき」の政策の見直しを訴えました。こうした意見に 300 人以上の地球科学者たちが賛同しているのです。



私たちは活断層の間近や真上、巨大地震の震源域に原発を建ててしまった事を、そして取り返しのつかない事故を起こしたことを知っています。にもかかわらず原発の再稼働は次々に認められ、稼働期間も延長されるなどで「核のごみ」は今も増え続けています。危険を後世に残さず現世代で解消しなければいけません。そのためにどうすればいいのか? 答えは明らかです。



# お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

## ◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆

エコキャップの取り組みを通して、環境問題に関心をもち行動するきっかけとなることを願っています



●エコキャップ R5年10月16日搬入分

重量：150kg	(取組開始からの累計 8,871.8 kg)
個数：64,500個	(取組開始からの累計 3,814,874個)
CO <sub>2</sub> 削減量：472.5 kg	(取組開始からの累計 27,946.17 kg)

搬入したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金され、公益社団法人 Donald・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに寄付され、全国で病気の子供とその家族が利用できる滞在施設の建設費及び運営に充てられます。詳しくは公益社団法人 Donald・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの H・P をご覧ください。

## リユースコーナー

昨年10月13日、春夏物から秋冬物へと棚替えをしました。今年秋を飛び越えて一足飛びに冬へと、一気に季節が進んだためか、10月、11月には多くの方々に沢山ご利用いただきました。10月13日～12月12日、2か月間の利用者数96名、利用点数571点でした。素敵な冬物がたくさんあります。ぜひご利用ください。



## 1月の環境ミニ講座は…?

「なんちゃってティラミスでバレンタイン」と銘打ち下記の通り開催します。企業に踊らされるわけではないですが、2月14日はバレンタイン。エコクッキングでご褒美スイーツを手作りしてみませんか？

日時：1月25日(木) 13:30～15:00  
 場所：サプリ村野南館 2階環境情報コーナー  
 参加費：100円 定員：20名



今年度のミニ講座は残すところあと2回。上記と、最後は2月22日「牛乳パックで作る小物アラカルト」です。ぜひご参加ください。



## 講演会開催 11:10～12:30 テーマ「脱炭素社会は可能か～枚方の場合～」

昨年アラブ首長国連邦で開催された COP28 で岸田首相は「アジア・ゼロエミッション共同体」の首脳会合を開くと演説の中で表明しました。枚方市では2020年2月に開催したエコフォーラムで、市長が「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」をしましたが、果たしてその進捗状況はどうなのでしょう。また枚方市において「脱炭素社会」は可能なのでしょうか。知ることから始めてみませんか？



ある未来予想シュミレーターによると、枚方市の2050年における人口は299,410人、2030年から2050年までに建てられる住宅件数が52,711件、また2050年における自家用車両総数は120,519台と予想されています。また、太陽光発電設置可能場所として、駐車場・空き地が約337ha、耕作放棄地が31ha、農地へのソーラーシェアリングが483haと予想されています。住宅をどの程度 ZEH にするか、また自家用車両のどの程度が EV になるか、そして太陽光発電設置可能場所にどの程度太陽光発電を設置できるか……。可能性へのカギはそこにあるかもしれません。

## 環境ティールーム報告

「環境問題いろいろあるけど一緒に考えてみませんか？」と呼びかけ7回開催し、残すところあと1回、2月8日の「ごみの分別のウソ・ホント～迷ってしまうごみの分別 分別に正解はあるのか～」のみとなりました。

- 6/8「アップサイクル、ダウンサイクル、サーキュラーエコノミーって何のこと？」
- 7/13「再生可能エネルギー100%社会は可能か？」
- 8/10「原発再稼働と期間延長を考える」
- 9/14「プラごみ海洋流出ゼロ合意はいいけれど・・・実現の可能性は？」
- 10/12「電力自由化を振り返る」
- 11/9「森林火災と温暖化」
- 12/14「環境に優しいを考える」

それぞれの回の参加者は少なく、残念なことに参加者ゼロの月もありました。しかし少人数ならではの和気あいあいとした雰囲気、正に「お茶とお菓子でおしゃべり」ができ、それぞれのテーマについて考える場となりました。





# 部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。



## 環境教育部会

### 出前授業で伝えたい エネルギーのこと 温暖化のこと

秋はイベントの多い時期です。我が環境教育部会もご多分に漏れず各種イベントに参加協力しました。そこで、会報誌秋号以降の活動をご報告します。

「NPO フェスタ 2023」や「ひらかたエコ祭り」では自転車発電体験のコーナー運営を担いました。「バス！乗ってスタンプラリー」ではスタッフとして、また「ひらかたクリーンリバー」に参加し「ゴミのポイ捨ての現状」を体験しました。本業の「環境出前授業」は、11月13日、12月11日に蹉跎西小学校で実施しました。

ところで皆さんは「蹉跎西小学校での出前授業が多いな」と思われているのではないのでしょうか。多いのには訳があります。蹉跎西小学校では「枚方市学校支援社会人等指導者活用事業」の制度を活用し、クラブ活動の中に「エコクラブ」を設け、クラブ活動として年間8回の環境授業を行っておられ、それを環境ネットワーク会議に依頼して下さっているからなのです。

さて、その蹉跎西小学校での出前授業の内容はというと、11月に実施したのは、一昨年から新たに開始した「校庭の樹木から木の役割を学ぼう！」です。これでは、植物に詳しいメンバーが中心となり、校庭の代表的な樹木（約20種類）の名前と特徴を調べ上げ、名札にQRコードを印刷し、タブレットで情報を見ることができるようにもしました。この授業では普段何気なく見ている校庭の樹木に関心を持ってもらい、樹木を大切に育て自然環境を守ることが地球温暖化対策にもなることを伝えています。

また12月の「環境問題と電気エネルギーについて学ぼう！」では、手回し発電や、団扇で風力発電を回すなど発電体験と、白熱球とLEDランプのクリスマスツリーの省エネ比較などを通して、電気エネルギーの消費と地球温暖化の関係を学びました。



【木の観察風景】



【手回し発電で省エネ体験】

出前授業の詳細は右の2次元コードでご覧いただけます。また活動に興味を持たれた方はお気軽に事務局にご連絡ください。



## 自然エネルギー部会

### 「地球沸騰」への突入を何としても食い止めたい！！

先般、国連のグテーレス事務総長が「地球沸騰化」という言葉を使いましたが、この言葉はあっという間に世界を駆け巡りました。一刻も早く化石燃料から自然エネルギー（再生可能エネルギー）にシフトし、この言葉を「使わない」ですむ社会になることを願って止みません。

さて、現在部会では、街宣活動や講演会等を通じて「自然エネルギーの重要性」や「市民に出来る温室効果ガス排出削減」の呼びかけを行っています。しかし「地球沸騰化」の言葉を耳にし、これらの活動をさらに推し進め、広く市民とともに「市民に出来る温暖化ガス排出削減」に取り組んでいくことが急務だと思っています。

このような思いもあり、活動の一助にしようと昨年11月13日、脱炭素先行地域に認定された奈良県生駒市で「自然エネルギーの地産地消」と「環境・まちづくり支援」を両輪に活動されている「(一社)市民エネルギー生駒」及び「生駒市民パワー(株)」の方々との意見交換を行いました。

この意見交換で得た大きな教訓は、「目的の達成」には、私たち市民単独だけでなく、行政、事業者の方々との強い連携、協力体制の中で進めなければならないという事でした。

ひらかた環境ネットワーク会議は、まさにこの三者協働の組織です。にもかかわらず、その「三者協働」が十分機能しておらず、しっかりと機能させて行くことの重要性を再認識させられました。

この教訓をしっかりと胸に刻みつつ、令和6年の事業を進め、皆さんと一緒に「地球沸騰」への突入を阻止したいと思っています。お互いに頑張りましょう！



枚方ソラパ（枚方市出口2丁目30-1）市が設置した大型太陽光発電設備  
平成25年7月から太陽光発電開始。  
年間の発電量は約61万kWh。  
約170世帯分の電力量に相当。